

平成 29 年度事業報告

I 概要

少子高齢化による生産年齢人口が急速に減少する中で、定年制の問題や 65 歳までの雇用延長などにより、シルバー人材センターを取り巻く環境も大きく変わってきました。今後、人生 100 年時代の高齢者の生き方を実現するためのシルバー人材センターの役割は、ますます重要になってきております。

今年度、当センターは、地域の特性を生かした「新たな活躍の場の創造」をキーワードとし、役員・職員が一体となり、シルバー人材センターの強み、魅力の再構築を目ざし透明性の高い事業運営のもと、真に自立した経営基盤の安定と強化を図りました。

特に、設立 30 周年を迎え、昨年 11 月に「変革」をテーマに「設立 30 周年記念大会」を、多数の企業・団体様等のご支援ご協力を賜り開催しました。

事業の実施状況は、第一義に会員確保に積極的に取り組むとともに、受託事業においては、一層の事業の拡充を図ること、派遣事業においては「改正高齢法」に基づき、業務の範囲が拡張された職種等の一層の充実を図ること、収益事業である介護保険事業においては、収益性の維持を念頭に、高齢者ケアニーズを踏まえた事業の精査・拡充を図ることなど、「就労・活動機会の充実確保」「効果的な営業活動の推進」をはじめ、6 項目の重点事業に取り組みました。

その結果、会員数においては、残念ながら前年度より 66 名減の 2,038 名の登録者数となったものの、受託事業の実績の増加と介護保険事業の収益が確保できたこと等により本年度の事業実績は、全体の契約金額で、前年度を約 1,600 万円上回る 11 億 4 千万円となりました。

また、会員の主体的活動を推進することにより、「安全就業対策の徹底」・「地域班活動の充実」を図ることが出来ました。

更には、新たな仕事の確保を目指して、「古民家再生・古材鑑定に係る仕事の開拓」や、「生涯現役促進地域連携事業」にも取り組みました。

このようなかで、平成 30 年度を始期とする「第 5 次中・長期計画」を構築する事を決定し、入会者の増強と、退会者の抑制対策を最重要課題とし、一層の事業の拡充を図ることにより活力ある地域社会づくりに寄与する計画を策定し、今後の事業の指針を明らかに致しました。

II 事業実施報告

1. 高齢者に対する雇用によらない就業の機会の確保・提供事業

市報やホームページの活用及びチラシ等の配布等による広報活動を行うこととともに、センター会員である高齢者に周知するよう努めた。

営業推進実行委員会を核に、営業推進員と女性会員による地域に密着した営業活動を継続的・組織的に展開し就業機会を確保する事ができた。

就業機会の提供に当たっては、地域から発注された仕事の情報や内容等を広くセンターの会員である高齢者に周知し、希望、能力等に応じて公平に提供を行うとともに、できる限り多くの高齢者の就業機会が保たれるようグループ就業、ローテーション就業を実施し、「仕事の分かち合い」に配慮した。

また、高齢者の就業機会拡大のため、高齢者が創意と工夫により、就業を創出する事業として、毛筆筆耕教室、パソコン教室、パソコン名刺外作成事業、温もり喫茶事業、和洋裁のリメイク事業、手すき和紙作成事業6つの独自事業を実施した。

事業実績は以下のとおり。

	3月末現在	(前年度)
(1) 会員数	2,038人	(2,104人)
(2) 事業実績		
受注件数	17,490件	(17,817件)
就業実人員	1,618人	(1,658人)
就業延人員	148,579人日	(146,951人日)
契約金額	7億8,817万円	(7億5,924万円)

2. 雇用による就業を希望する高齢者に対する労働者派遣事業

高年齢者の多様なニーズを踏まえた就業機会を確保していくため、労働者派遣事業の強化を図り、派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」に基づき、松山実施事務所として愛媛県シルバー人材センター連合会と連携しつつ事業を実施した。また、派遣登録会員への就業機会確保の充実の為、6業種についてキャリアアップ講習会を実施した。

その他、派遣会員の安全管理に前向きに取り組むため、産業医を採用し所内衛生管理者のもと、法律に基づき衛生委員会を設置し毎月1回開催した。

事業実績は以下のとおり。

登録会員数	1,002名
受注件数	567件
契約金額	3億5,223万円
就業延人員	70,406人日

3. 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

(1) 技能開発講習会事業

会員の技術向上を図るため、各講習会を実施し就業機会拡大の効果を上げた。

剪定作業講習会（2回）	31名参加
草刈機作業講習会	17名参加

除草作業研修会（2日）	15名参加
剪定作業育成研修会（2回）	33名参加
剪定班長研修会	17名参加
福祉・家事援助サービス事業講習会	45名参加
イクじい・ばあばママの養成講習会	25名参加
イクじい・ばあばママのレベルアップ講習会等	30名参加
温もりある生活支援研修会(新総合事業対応)	33名参加
労働者派遣事業キャリアアップ（仕事力アップ）	21名参加
労働者派遣事業キャリアアップ（販売）	29名参加
労働者派遣事業キャリアアップ（運転）	26名参加
労働者派遣事業キャリアアップ（校務員）	148名参加
労働者派遣事業キャリアアップ（介護調理）	16名参加
古材鑑定スキルアップ講習会（4カ所）	56名参加

(2) 接遇講習会事業

地域社会の活性化を担う会員として、その活動の礎となるモラルの向上と接遇能力を向上させる講習会を実施し会員の就業意欲の高揚と就業機会確保に繋げることが出来た。

労働者派遣事業派遣スタッフ研修会 114名参加

4. 就業を通じて高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業

(1) 社会参加促進事業

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、社会参加の一環として市と連携したまち美化活動や、職群班による市立小学校の剪定・軽作業、地域班活動による清掃ボランティアや「愛媛マラソン」の運営ボランティアに参加した。

クリーンアップ大作戦年末大清掃(12月)	90名参加
第56回愛媛マラソン清掃ボランティア（北条地区）	27名参加
第56回愛媛マラソン清掃ボランティア	28名参加
剪定班ボランティア(松山市立和気小学校)	58名参加

(2) 相談・情報提供事業

就業意欲のある高齢者を対象に、毎月2回の就業相談を実施し、就業を希望する高齢者の就業機会の開拓と情報提供を行い、特に、女性の就業機会拡大に努めた。

就業相談者 203名（男性 145人、女性 58人）
 就業者 94名（男性 70人 女性 24人）

(3) シルバーサロン事業

「シルバーサロン清水町」、「久米愛・あいサロン」での、地域コミュニティを取り込んだ、社会参加に意欲のある健康な高齢者に就業の場を提供するとともに、当センターの利用者、会員を初めとした高齢者に多様な交流の場を提供し、高齢者の生きがいの充実に努めた。

○シルバーサロン清水町

行事 オカリナ他 14種

実施日数	252 日
延参加者数	4,858 名
○久米・愛あいサロン	
行事	DVD視聴他 17 種
実施回数	506 回
延参加者数	1,903 名

(4) 生きがいデイサービス事業

介護（支援）認定を受けていない高齢者への健康と生きがいづくりの促進閉じこもり予防に繋がる事業として、松山・北条の2か所で実施した。

松山市生きがいデイサービス事業

実施日数 243 日、登録者数 83 名、延利用者数 1,372 名

北条老人デイサービス事業

実施日数 243 日、登録者数 68 名、延利用者数 2,406 名

(5) 高齢者生活基盤支援事業

離島における、生活基盤（「見守り」と「買い物支援」）及びミニデイサービスを実施し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境整備の支援に役立った。

買い物支援事業 356 件、延利用者数 1,423 名

見守り（安否確認） 490 件、延利用者数 3,487 名

ミニデイサービス（「中島地区サロン楽島会」）実施回数 47 回
参加者数 延 637 名

5. 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るための事業

(1) 就業開拓等事業

営業推進員を中心とした家庭、事業所、地方公共団体等の訪問・面接を行い就業先を積極的に開拓すると共に、高齢者の職業能力や経験を生かせる職域の開拓を行った。

特に、女性会員の特質を生かした職域の開発に努めた。

訪問件数 928 件

企業 759 社 地方公共団体 23 件 その他団体 32 件

個人家庭 169 件

(2) 調査研究事業

地域社会のニーズにマッチした事業展開を実施するために、発注者満足度調査、高齢者の就業に対する意識調査や健康づくりの推進に関する調査等を実施し未就業会員の就業実現に繋がった。

(3) 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業委員会を開催し、安全・適正就業委員会と安全推進員の連携により、安全就業巡回指導や交通安全講習会等を実施するとともに、安全会報を作成し事故防止対策や事故発生分析等積極的な取り組みを行った。

また、本部・支部・福祉事務所や定時総会における安全就業関連ポスター等展示を行う等、会員の安全就業への啓発活動を行った。

【事故発生状況】

傷害事故 10件 賠償責任事故 6件 自動車（保険）事故 0件
安全巡回指導 7回

(4) 普及啓発事業

健康で働く意欲のある会員入会の働きかけを行うとともに、市報、ポスターの掲示及びチラシ等の配布や、ホームページ掲載、センターボランティア活動の報道依頼などを行った

当センター広報誌「シルバー松山」年4回、事業啓発チラシとして女性会員の情報共有や活動活性化ツールとして「女性会員活動活性化委員会 News」や派遣事業啓発のため「派遣 News」を発行した。

入会希望者への「入会セミナー」を移動セミナーを併せて月4回実施し、センター事業への理解と就業に係わる周知を行った

入会セミナー363名参加（男：199名、女：164名）

(5) 地域就業機会創出・拡大事業

地域の地方公共団体や商工団体等と連携して、地域社会・経済の維持・発展等につながる新たな就業機会を創出する事業を実施した。

① 空き家等巡回管理サービス連携事業

空き家等巡回管理サービス提供体制の整備を行い総合支援体制の構築を図った。また、古材鑑定士（古民家簡易鑑定士）資格者へ自ら古民家の簡易鑑定が可能となるようスキルの向上を目指し、実技講習会を4回開催しスキルアップに努め、高齢者の経験や知識を活かした新たな就労機会の確保に繋げることができた。

事業実績

就業延人員 737人日 事業収入 5,315千円

② 女子力集結！！ネット活用新規おしごとメイクプラン

現役世代の母親グループ等との連携を図り、シニア女性と若年女性が持つ感性を合わせた作品製作事業を展開し、観光地道後温泉において開運アイテム「お結び玉」のヒット商品を生みだし女性会員の就労機会の大に繋がった。30周年記念大会イベントにおいては、就業ニーズをリサーチする場として、子育て世代の母親達をターゲットとした「ハンドメイドカーニバル」を開催し、母親世代を組織化して確保し新たな事業へ繋ぐことができた。また、地元ケーブルテレビと連携し、センター独自のスマートフォン講習会を実施するため、講師育成講習会等を実施し、ホワイトカラー系職種の獲得とシニアのICT利活用推進に努めることができた。

事業実績

就業延人員 1,734人日 事業収入 2,204千円

(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

高齢者の、人手不足分野・現役世代を支える分野で、主にサービス業務の人手不足分野、育児・介護等の現役世代を支える分野の就業を促進するための事業を実施した。

① 移住促進および会員の就労機会拡充事業支援業務を実施し、シニア層の首都圏移住者の就労等ニーズの把握と移住促進をおこない、首都圏の松山市に興味を持つシニア層の組織化への基盤づくりと首都圏移住活動に

伴う、新たな就労機会の確保と提供へ繋げることができた。

- ② 地域の高齢者を対象とした、セミナーイベント等開催時に特別セミナーを開催し、地域の高齢者へ活動の周知啓発を図り入会促進を行った。
- ③ 市内2カ所でサロンを実施し、現役世代の女性等の家庭内の手間や時間制約の解消に役立てた。
- ④ 高齢者の継続的就労のため、健康サロンを実施し就労体力向上に繋げることができた。
- ⑤ 企画提案により地元ケーブルテレビの番組表配布業務を受託し、市内全域で140名の会員確保と就業機会提供に繋げることができた。また、スマートフォンで業務対応を可能にすることなどによりスマートフォン講習会を併せて実施し、講習会運営業務の就業機会確保にも繋がった。

(7) 助成金等を利用した事業

助成事業や国の委託事業を利用し、高齢者の多様な就業機会の確保を図るため、シルバー人材センターならではの事業に積極的に取り組んだ。

厚生労働省より採択され受託した、生涯現役促進地域連携事業（地方創生に係る高齢者の就業機会拡充連携支援事業）を松山市はじめ連携団体等と事業連携関係を密にし、特に65歳以降の高齢者が地域社会で活躍できる環境整備に向けて、高年齢者の雇用・就業機会の確保や就労促進を図ることを目的として、効果的に事業成果を求めて実施した。

- ① 高齢者対象就労に関する専門情報誌の発行
- ② ホームページの管理運営
- ③ 「未・来 Job まつやま」に高齢者対象専門相談員を配置しシニア層に特化した相談ブースを開設
- ④ 松山市主催イベントにおける就労相談ブース開設と未就業高齢者アンケートを実施
- ⑤ 松山市に居住する高齢者就業機会確保に係る首都圏企業の仕事確保と移住高齢者の就労促進事業を実施
- ⑥ 介護分野の就業機会拡充連携支援事業を実施
- ⑦ 松山郷土料理講習を実施し「まつやま郷土料理マイスター」の養成と郷土料理の普及啓発を図った。
- ⑧ 松山郷土料理農作品ファーム就農育成講習を実施し郷土料理とリンクした就農者育成した。
- ⑨ 郷土料理の利活用の関心を高めるために、松山郷土料理、農産品の普及啓発事業を実施した。

以上の支援メニューを実施した結果、高年齢求職者649名、企業271社の利と75名の雇用就業者の事業実施効果があった。

6. 許可による職業紹介事業を活用した高齢者就労総合相談窓口業務

地域の高齢者等を対象とした「高齢者就労総合相談窓口」を設置し、高齢者等のニーズの多様化に対応し、能力と経験に応じて、幅広い就業機会を提供した。

具体的には、地域の高齢者への職業紹介・斡旋、就労相談、キャリアコンサルティング、高齢者等の就労開拓、就労支援セミナーの開催、高齢者等の社会参加

の総合コーディネーター等を行った。

また、いきいき仕事センターで、「仕事探し応援講座」を開催し事業啓発を行った。

事業実績

相談支援者	166人、求職登録者 75人
訪問事業所	163事業所、求人事業所 27事業所
求人件数	43件、求人人数 108人、就職者 33人

7. 介護保険等事業の拡充

(1) 介護保険事業

「介護保険法」及び「障害者総合支援法」に基づき居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、訪問入浴介護事業及び居宅介護事業を実施し、特に訪問介護事業等においては会員の就労機会の確保に努めた。一方、北条福祉事務所で実施する訪問入浴介護事業においては、従事する職員の高齢化、人材不足による後継者不在、訪問入浴車等機器の経年劣化による故障等により、事業の継続が難しい事から平成 29 年度末を以て事業を廃止した。

また、介護保険事業参入時より、「心のぬくもりと経験を介護に!!」をスローガンに、きめ細やかな高品質なサービスの提供に努めたことにより、職員及び会員ヘルパーにその気持ちが浸透し、利用者はもとより地域からも信頼される事業となっている。

(2) 離島・山間部での高齢者ケア事業の実施

高齢者の外出の機会を増やし、各地域で寄り合いの場所を提供し、住み慣れた離島・山間部で“元気に楽しくすごそう”を合言葉にミニデイサービス等を実施した。

事業名	実施回数	参加者	行事内容
ジョイフル	243日	1,372名	・健康チェック・室内行事 ・外出行事・講習会 等
北条老人デイサービスセンター	243日	2,406名	・健康チェック・室内行事 ・外出行事・運動会 等
楽島会	47回	637名	・レクリエーション・健康体操 ・健康相談・健康チェック

(3) 介護保険事業の利用者開拓への取り組み

新規利用者の開拓を目指して、昨年につき、介護関係パンフレットの配布や全会員を対象に案内チラシを送付するとともに、「シルバーサロン」利用者に介護指導などを実施した。

事業名	実施回数	参加者	行事内容
シルバーサロン 清水町	252日	4,858名	・趣味活動 14 教室・介護相談

(4) 新総合事業参入

松山福祉事務所では、平成 29 年度から松山市介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）の生活支援型訪問サービスの事業所指定を受け事業に参画した。

(5) 職員及び会員ヘルパーの人材育成への取り組み

介護人材の定着及び確保のため、職員の資質向上を目的とした研修会への参加や、会員ヘルパーを対象とした介護技術等の習得や情報収集のための研修会を随時開催するなどの人材育成に努めた。

(6) 介護保険事業の収益

一昨年末に策定した収益改善に向けた改善計画に沿った事業運営に心がけ、また、昨年度は処遇改善加算の見直しによる増収もあり、前年度の収益を上回る成果が得られた。収支についても黒字化することができた。

(7) 松山市母子家庭等生活支援事業の実施

ひとり親家庭の生活支援の事業を松山市より委託を受け、次のとおり実施した。

事業名	実施月数	延べ日数	延べ時間数	収入金額
松山市母子家庭等生活支援事業	8 か月	10 日	22 時間	33,660 円

8. 事務局体制の充実

- (1) 多様な事業展開に対応するため、職員の意識改革と人材育成を図るため研修の機会を確保し資質の向上を目指した。
- (2) 入会時の受付対応の強化と職員の一定の傾聴スキルの資格取得を推進した。
- (3) 職員のモチベーションを維持・向上するため、それぞれの職責・能力に見合う職員の処遇改善を図った。
- (4) 人事考課制度による職員の適正配置を効果的に実施した。
- (5) 公益法人として、会計基準に基づいた適正な執行にあたり、職員の経理的基礎及び技術的能力を向上させた。
- (6) 事業経費の明確化、事務の効率化等によりコスト削減を実行した。
- (7) 理事会に連動して、迅速かつ的確に執務ができるよう、事務局組織・事務分掌の見直しを行った。
- (8) 公益法人として、必要とされる情報の公開を適切に実施し、透明性の高い事務事業を実施した。
- (9) 「設立 30 周年記念事業検討会議」を中心に事業の実施に伴う体制と予算を確保し「設立 30 周年記念大会」を実施した。